

大型ディスプレイに任意のサーバー画面をシームレスに表示

導入先：監視ルーム



ある企業の監視ルームでは、4名のオペレーターが16台のサーバーを操作している。この16台のサーバーの内、8台は常時監視が必要であるため、監視ルームに設置した大型ディスプレイにいつも表示するようにしたいと考えていた。残りの8台は万が一の障害が発生した際に、大型ディスプレイの画面を切り替えて、その画面を即座に表示させたいとも思っていた。そしてこの切替方法は、シリアルコマンドにてアプリを作成することで、オペレーターが簡単に操作できるようにしたいとも考えていた。

Challenges

- ◆ 大型ディスプレイに常時表示が必要なサーバーが8台あり、残り8台のサーバーは必要に応じてこの大型ディスプレイに表示して確認できるようにしたい。
- ◆ 障害発生時にすぐに確認できるように、切替速度は0秒に近いシームレス切替が必要。
- ◆ 独自のアプリケーションで操作したいので、シリアル制御に対応していること。

Solution

ATEN トータルソリューションでサーバーのモニタリングと操作を簡単に実現



VM1600

16入力 16出力モジュール式
マトリクススイッチャー
(ビデオウォール対応)



VM7604

VM1600用
4ポート DVI 入力ポート



VM8604

VM1600用
4ポート DVI 出力ポート



KM0532

5ユーザー32ポート
マトリクス KVM スイッチ



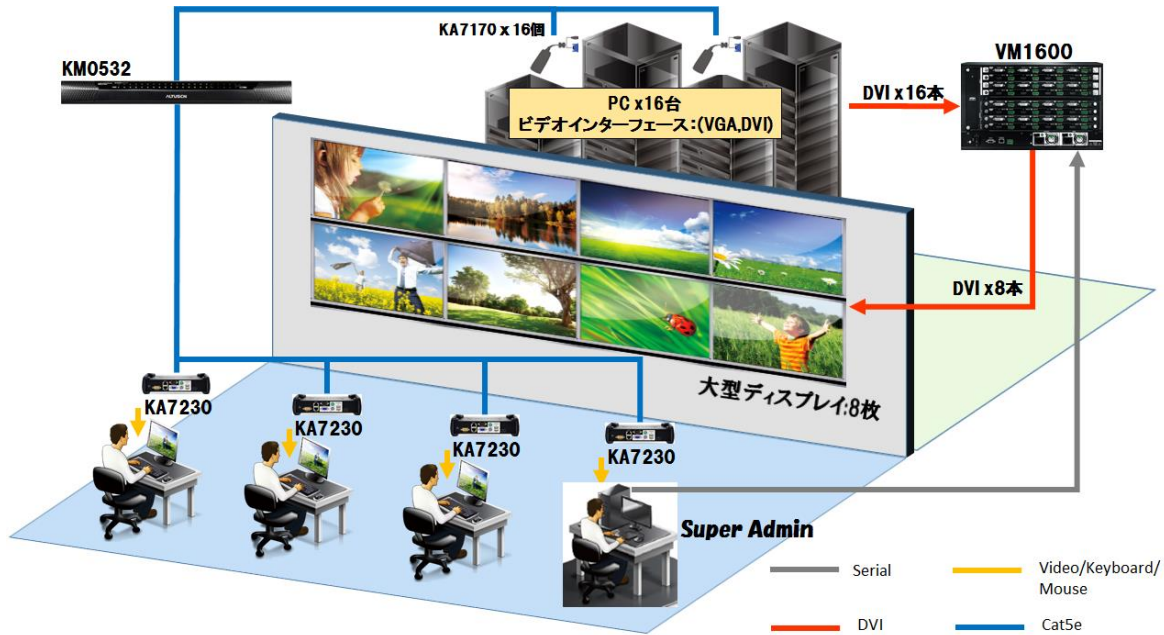
KA7170

USB コンピューター
モジュール(SUN 対応)



KA7230

PS/2 - USB コンソール
モジュール



Benefits

- **最大 4×4 ビデオウォール表示対応** - VM1600 は入出力ボード各 4 枚を任意に接続することで、最大 4×4 ビデオウォール表示に対応。
- **シームレス切替対応** - VM1600 では、フレームバッファによる継続的なビデオストリーム、リアルタイムな切替、安定した信号送信が可能
- **5 箇所のコンソールから単体で最大 32 台のサーバーが操作可能** - KM0532 は、3 段階のユーザー権限設定やパスワードの管理機能を搭載し、最大 1024 ユーザー、256 グループのアカウント作成も可能
- **シリアル対応** - VM1600 および KM0532 はともにシリアル制御が可能

Features



VM1600 16 入力 16 出力モジュール式マトリックススイッチャー (ビデオウォール対応)

- ATENモジュール式マトリックスソリューションと組み合わせて、4枚の入力ボードと4枚の出力ボードを任意に接続可能
- 4x4ビデオウォール出力に対応 - ビデオウォールのレイアウトはブラウザ経由で簡単に設定可能。プロファイル (表示パターン) は32通り登録可能
- シームレス切替 - フレームバッファによる継続的なビデオストリーム、リアルタイムな切替、安定した信号送信が可能
- 簡単操作 - フロントパネルプッシュボタン、RS-232シリアルポート、ブラウザベースのGUI、Telnet

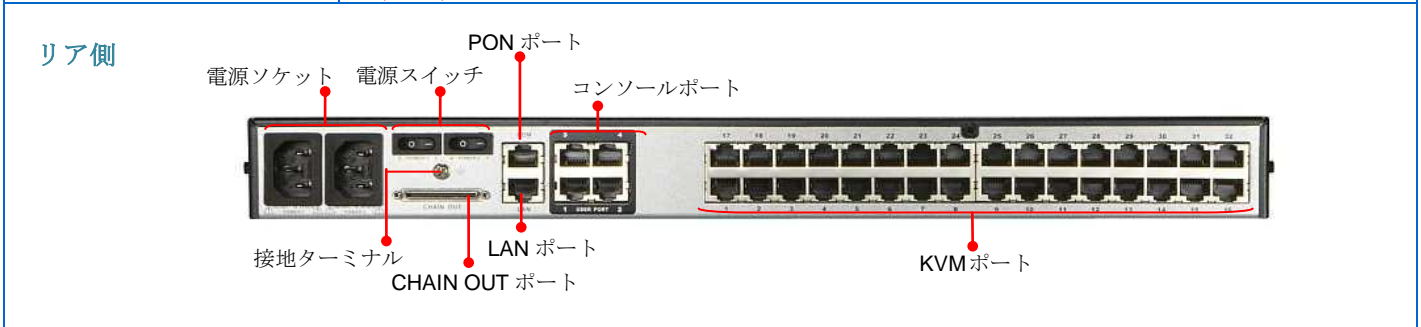
フロント側



リア側



	<p>VM7604 VM1600 用 4ポート DVI 入力ボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 解像度 - 最大1,920x1,200@60Hz ■ HDCP1.4準拠 ■ ホットプラグ対応 - ボードの入れ替えが容易に ■ オーディオ対応
	<p>VM8604 VM1600 用 4ポート DVI 出力ボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ シームレス切替 - フレームバッファによる継続的なビデオストリーム、リアルタイムな切替、安定した信号送信が可能 ■ 異なる解像度のビデオ信号に対応するため、出力ポート毎にスケーラー機能を搭載 ■ EDIDエキスパート機能 - 自動/手動で適切なEDIDモードを選択可能
	<p>KM0532 5ユーザー32ポートマトリックス KVM スイッチ</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 製品に直結された最大32台のサーバーを5箇所のコンソールから独立して同時に操作することが可能 ■ オーディオ対応 ■ マルチプラットフォーム対応 - Windows、Linux、Mac、Sun、シリアルデバイス ■ システム設定や管理が簡単なWebインターフェースを提供 ■ 3段階のユーザー権限 - スーパーアドミニストレーター/アドミニストレーター/ユーザーの3種類のユーザーレベルを提供 ■ 自動信号補正機能(ASC) - サーバー/コンソール間の距離は最大300m※まで延長可能。延長距離の変更時にもDIPスイッチ等の設定不要 <p>※コンピューターモジュールと本体との間には、弊社 Cat5e ケーブルのご使用を推奨致します。 ※1,280x1,024@60Hz の環境における最大延長距離です。</p>



	<p>KA7170 USB コンピューターモジュール(SUN 対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 自動信号補正機能(ASC)搭載により、延長距離を変更する場合でもDIPスイッチ等の設定は不要 ■ キーボード/マウスエミュレーション - KVMスイッチはモジュールの取り外しや付け替えの影響を受けることなく動作
--	--

	<p>KA7230 PS/2 - USB コンソールモジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ KM0932/KM0532マトリックスKVMスイッチ用コンソールモジュール ■ マトリックスKVMのコンソールとしてだけでなく、管理者が使用するPCを1台接続し、切り替えて使用可能 ■ RS-232ポートログイン対応 - 管理者はマトリックスKVMスイッチに接続された全コンソールのKVMポートアクセス管理が可能。アクセスするKVMポートに対してシングルインターフェースから自由にコンソールを割当
--	---

